

# 東京放射線

2017年3月号

Vol.64 No.748

会費納入のお願い

今年度の会費納入期限は3月末です



公益社団法人 東京都診療放射線技師会

<http://www.tart.jp/>

卷頭言	不如楽之者 篠原健一
会告	第6地区Meeting(第64回日暮里塾ワンコインセミナー合同開催)
新連載	第19回メディカルマネジメント研修会
お知らせ	平成28年度SR推進委員会研修会
会告	第59回きめこまかな生涯教育
新連載	第68回定期総会での表彰(勤続20年)について
お知らせ	平成28年度第5地区研修会
新連載	平成28年度第1地区研修会
会費納入のお願い	第68回定期総会での表彰(勤続20年)について
研修会等申込書	平成28年度第5地区研修会
登録事項変更届	平成28年度第1地区研修会
会費納入のお願い	「急性疾患アラカルト」第一部急性腹症「虫垂炎」 市川篤志
研修会等申込書	「急性疾患アラカルト」第一部急性腹症「虫垂炎」 市川篤志
登録事項変更届	「急性疾患アラカルト」第一部急性腹症「虫垂炎」 市川篤志

# 診療放射線技師 業務標準化宣言

いま我が国では「安心で安全な医療の提供」が国民から求められている。そして厚生医療の基本である「医療の質の向上」に向けて全ての医療職種が参加し、恒常的に活動をする必要がある。

私達が携わる放射線技術及び医用画像技術を含む診療放射線技師業務全般についても、国民から信頼される普遍的な安全技術を用いて、公開しなくてはならない。そして近年、グローバルスタンダードの潮流として、EBM (Evidence Based Medicine)、インフォームドコンセント、リスクマネジメント、医療文化の醸成、地球環境保全なども重要な社会的要項となっている。

公益社団法人東京都診療放射線技師会では、『国民から信頼され選ばれる医療』の一員を目指し、診療放射線技師の役割を明確にするとともに、各種業務の標準化システム構築を宣言する。

診療放射線技師業務標準化には以下の項目が含まれるものとする。

1. ペイシェントケア
2. 技術、知識の利用
3. 被ばく管理（最適化／低減）
4. 品質管理
5. 機器管理（始終業点検／保守／メンテナンス）
6. 個人情報管理（守秘／保護／保管）
7. 教育（日常教育／訓練／生涯教育）
8. リスクマネジメント
  - ～患者識別
  - ～事故防止
  - ～感染防止
  - ～災害時対応
9. 環境マネジメント（地球環境保全）
10. 評価システムの構築

公益社団法人 東京都診療放射線技師会

# 診療放射線技師のための接遇規範

1. 検査に際しては明瞭で分かりやすい言葉（患者さんの分かる言葉）で話す。
2. 患者さんをお呼びするときは、姓・名を確認する。
3. お年寄り、歩行困難、病状の悪い患者さんに対する検査室のドアの開閉は、特に技師がおこなう。
4. 検査室入室後は、患者さんから目を離さないようにする。
5. 自分の名前を名乗り、検査部位と撮影回数を説明し、患者さんの同意を得てから検査をおこなう。特に小児やお年寄りの方で検査介助が必要なときは、十分な説明をおこない同意を得てから検査の介助をしていただく。
6. 脱衣の必要な検査は、検査着に着替えていただく。検査の特殊性から脱衣が必要なときは、露出部をバスタオルなどで覆う。
7. 検査台の乗り降りは、原則として患者さんの手の届くところに技師がいる。
8. 検査手順を守り、患者さんの身体に手が触れるときは事前に同意を得てから触れる。
9. できるだけ短時間で検査を終了し、「お疲れさまでした」等の癒しの言葉を述べる。
10. 検査室から患者さんが退出するまでは技師の責任である。
11. 検査室は常に整理整頓、清潔であること。
12. 仕業（始業・終業）点検は毎日おこなう。
13. 検査部位ごとの被ばく線量はいつでも答えられるようにしておく。
14. 照射録は正確に記載する。
15. 医療人として患者さんから高い信頼を得られるよう努力する。

公益社団法人 東京都診療放射線技師会

目 次

診療放射線技師業務標準化宣言 .....	1
診療放射線技師のための接遇規範 .....	2
巻頭言 不如楽之者(これを楽しむものに如かず) .....	4
会告1 第6地区meeting(第64回日暮里塾ワンコインセミナー合同開催)…第6地区・学術教育委員会	5
会告2 第19回メディカルマネジメント研修会 .....	6
会告3 平成28年度SR推進委員会研修会 .....	7
会告4 第59回きめこまかな生涯教育 .....	8
会告5 第68回定期総会での表彰(勤続20年)について .....	9
お知らせ1 平成28年度第5地区研修会 .....	10
お知らせ2 平成28年度第1地区研修会 .....	11
お知らせ3 東放技会員所属地区のご案内 .....	12
新連載 学術が行く～急性疾患アラカルト～	
第一部 急性腹症「虫垂炎」 .....	市川篤志 13
こえ	
・新春のつどいに参加して .....	池部翔子 17
・役員研修会潜入記 .....	18
パイプライン	
・平成29年度関東甲信越診療放射線技師学術大会 .....	20
・超音波画像研究会 レベルアップセミナー .....	22
平成28年度1月期会員動向 .....	23
平成28年度第10回理事会報告 .....	24
研修会等申込書 .....	29
登録事項変更届 .....	30

Column & Information

・会費納入のお願い .....	9
・学術講演会・研修会等の開催予定 .....	28
・求人情報 .....	31

スローガン  
チーム医療を推進し、  
国民及び世界に貢献する  
診療放射線技師の育成

# 卷頭言



## 不如樂之者（これを楽しむものに如かず）

会長 篠原健一

米国大統領にトランプ氏就任、英国のEU離脱決定、韓国大統領の弾劾可決、イタリアで憲法改正を国民投票で問うた首相が敗れ辞任など、世界は「不確実性」を増し、さまざまな面で2017年は激動の年になるといわれている。激動の年といえば、私が本会をお預かりした時もある意味激動の船出であった。6年前の3月5日、第60回総会においての役員改選で、前任の中澤会長から引き継ぐことになり、その1週間後、3月11日に東日本大震災が発生した。なすすべもないような無力感の中、何かしなければと始めた放射線サーベイ活動。さまざまな世代の会員の皆さんに寄り合い、機材を持ち寄り、支えていただいたことを思い出す。

間もなく新年度がスタートするが、2017年度から数えて2年後の2019年は南北関東地域1都9県による関東甲信越診療放射線技師学術大会が東京都診療放射線技師会の開催担当の年となる。そして3年後の2020年度にはこの首都東京においてオリンピック／パラリンピックが開催されるが、本会においては創立70周年の年でもある。さらに、4年後の2021年はAACRT（アジアオーストラレシア放射線技師学術会議）の日本開催が決まっており、東京での開催が視野に入っている。まさに、本会にとって新たなる激動が具体化しあげはじめる年である。

一昨年の法改正による、いわゆる診療放射線技師の業務範囲拡大についても、厚労省指定の統一講習会を今年度は7回実施した（3月開催も含む）。これは、開催回数も受講者数も全国で断トツの数であるが、東京は会員数・技師数も全国で断トツなので、受講比率としての数字を出すとどうしてもやや低くなる。日本診療放射線技師会は年間1万人の受講者数目標を打ち出しており、全国の約1/14の会員数を抱える本会は、それに応じた受講者数を目指している。尚、統一講習会という事業自体は単に診療放射線技師のためではなく、目先のことだけでもない。何よりも患者さんの安心で安全なチーム医療推進のためであり、更なる業務拡大のためでもある。

われわれは国から与えられた資格を持つものとして、そして職能団体として、それを神棚に祭って守っていればいいわけではない。3年後、5年後、10年後の、そして20年・30年後さらにもっと先の未来の診療放射線医療のためにさまざまな政策を推進していくかなければならない。日本診療放射線技師会の重要政策の中でも、診療放射線技師学校養成所指定規則の発展的改定、例えば診療放射線技師の養成教育は4年制大学以上とするとか15年以上前の指定規則改正によるカリキュラムの単位数を実態に合わせて増やすというようなことである。また、診療放射線技師国家試験の委員数・試験問題数の適正化も連動して必要な政策である。そしてなによりも、昭和26年にできた診療放射線技師法の抜本的な改正など、日本診療放射線技師会と協力して進める所存である。

前半で、「激動」という言葉を何回か使い、激動＝大変＝多忙と連鎖していきそうであるが、良い意味で激動を楽しみたいと思う。6年前の就任最初の巻頭言で、中澤前会長が常々仰っていた「技師会活動を楽しもう！」という言葉を紹介した。『論語』には、“知之者不如好之者、好之者不如樂之者”

これを知る者はこれを好む者にしかず　これを好む者はこれを楽しむ者にしかず  
とあり、“学び”など各種活動について知・好・樂の段階を示していることを書いた。技師会活動を楽しめる会員・役員、そのような組織にしたいと常々思っている。

来年度も皆さまの一層のご理解ご協力を願いしたい。

## 第6地区meeting

(第64回日暮里塾ワンコインセミナー合同開催)

テーマ「そうだったのか！基礎知識編（一般撮影・バリウム検査・医療事故）」

今年も第6地区では、東京都診療放射線技師会学術教育委員会と合同勉強会を企画しました。今回のコンセプトは“勉強したくても、なかなかやってない基礎的な勉強会”です。“たくさん撮って身に着けたいけど検査数が少ない、教わりたいけど何からやつたらいいかわからない”小規模施設の診療放射線技師の皆さん、こんな風に思ったことはありませんでしたか？また苦手意識を持ってしまってはいませんか？わからないことや、うまく撮るコツは、技師会の先輩に聞けば良いのです。われわれ「第6地区 meeting」ではそれをお教えいたします。一緒になって考えましょう。何かつかんで帰路に着ける会にできるように頑張ります。是非、一度お越しください。先輩・後輩・他地区・学生の皆さん、分け隔てなく一緒に学びましょう。第6地区委員一同お待ちしております。

### プログラム

- |                              |                |
|------------------------------|----------------|
| ◆「そうだったのか！四肢撮影」              | 公立福生病院 市川 重司 氏 |
| ◆「胃・大腸バリウム検査上達へのコツと工夫」       | 東葛病院 安藤 健一 氏   |
| ◆「放射線科内医療事故ディスカッション～情報の共有化～」 | 第6地区委員         |
| ◆「研究報告」                      | 中央医療技術専門学校 学生  |

### 記

日 時：平成29年3月4日(土) 16時00分～18時40分 (受付開始：15時30分～)

場 所：中央医療技術専門学校 視聴覚室

〒124-0012 東京都葛飾区立石3-5-12

ア クセス：京成押上線「京成立石駅」下車 徒歩7分 (各駅停車をご利用ください)

受 講 料：診療放射線技師 500円

新卒かつ新入会員\*、一般ならびに学生 無料

申込方法：東放技ホームページ (<http://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォーム (研修会申し込み先名は“6地区”を選択) からお申込みください。※当日参加も可能です

問い合わせ：第6地区委員長 高橋克行 E-Mail : area06@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX : 03-3806-7724

以上



\*新卒かつ新入会とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう

# 会 告

## 2

### 第19回メディカルマネジメント研修会

テーマ「標準スキル・モラルクラウドシステム」  
～可視化と褒める評価で成長し続ける組織～  
(診療放射線技師育成支援)

講師：株式会社ベネスト ビジネスアドミングループ 益田 敏治 氏

第19回メディカルマネジメント研修会を標記の内容で開催致します。

昨今、人材教育、評価は非常に重要視されています。そのような背景を踏まえ、どこの病院の診療放射線技師でも同じ基準でスキルを可視化することができるシステムを紹介し、業務の評価や組織の活性化に役立てればと思います。

多くの方の参加をお待ちしております。

#### 記

日 時：平成29年3月7日（火） 19時00分～20時30分

場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505

ア クセス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分

受 講 料：会員1,000円、非会員5,000円（当日徴収）

申込方法：東放技ホームページ (<http://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォーム（研修会申し込み先は“学術教育委員会”を選択）からお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

※人数により締め切ることがあります。

問い合わせ：学術教育委員長 市川重司 E-Mail：[gakujitu@tart.jp](mailto:gakujitu@tart.jp)

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

## 平成28年度 SR推進委員会（公益・災害）研修会 テーマ「緊急被ばく医療研修会～3.11を風化させない～」

東日本大震災に伴う東京電力福島第一原子力発電所の事故にあたり、公益社団法人東京都診療放射線技師会では、発災直後の被災地におけるサーベイ活動、都内避難所における放射線サーベイボランティア活動など、放射線専門の職能団体として活動を行いました。これらの活動・経験を語り継ぎ風化させないために、今年度も研修会を企画しました。

今年度は、新たな内容として放射線被ばく、もしくは被ばくの可能性がある傷病者を自施設で受け入れるために必要な知識やスキルを学習します。また、原子力規制委員会から出されている原子力災害対策指針は改正が数多く出されています。その指針を踏まえた講義を行います。皆さまの参加をお待ちしております。

### プログラム

時間	タイトル	講師
13：00～13：10	開会の辞	SR推進委員会委員
13：10～14：00	緊急被ばく医療について	
14：10～14：50	養生実習	
15：00～15：50	被ばく傷病者受け入れ実習	
15：50～16：20	質疑応答	
16：20～16：30	閉会の辞	

### 記

- 日 時：平成29年3月12日（日）13時00分～16時30分（受付開始12時30分～）  
 場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター  
     〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505  
 アクセス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分  
 定 員：40名（先着順）  
 受 講 料：会員1,000円、非会員5,000円（当日徴収）  
 申込方法：東放技ホームページ (<http://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォーム（“災害対策委員会”を選択）、  
         または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。  
 カウント付与：日本診療放射線技師会生涯教育3.0カウント付与  
 問い合わせ：SR推進委員長 渡辺 靖志 E-Mail：[saigai@tart.jp](mailto:saigai@tart.jp)  
                   公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

# 会 告

## 4

### 第59回きめこまかな生涯教育 テーマ「乳がんを理解する」

講師：国家公務員共済組合連合会 立川病院 服部 裕昭 先生

一般的に乳腺疾患（がん）を理解する上で、画像だけでなく、多方面からの知識が必要です。今回はステージングやサブタイプ分類を特集して勉強したいと思います。  
多くの方の参加をお待ちしております。

#### ～ プログラム ～

15:00～16:00 ステージング（病期）TNM分類

16:00～16:40 ブレイクタイム～ティッシュ・エキスパンダー（皮膚拡張器）～  
(アラガン・ジャパン株式会社)

16:40～17:40 サブタイプ分類

#### 記

日 時：平成29年3月25日（土）（受付開始：14時30分～）

場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505

ア クセス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分

受 講 料：会員2,000円、非会員10,000円（当日徴収）

申込方法：東放技ホームページ（<http://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォーム（研修会申し込み先は“学術教育委員会”を選択）からお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

定 員：30名（定員になり次第締め切ります）

カウント付与：日本診療放射線技師会学術教育2.5カウント付与

問い合わせ：学術教育委員長 市川重司 E-Mail：[gakujitu@tart.jp](mailto:gakujitu@tart.jp)

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

# 会告5

## 第68回定期総会での表彰（勤続20年）について

涉外委員會

本会は平成29年6月に行われる、公益社団法人東京都診療放射線技師会 第68回定期総会において、本会表彰規程により功労賞（勤続20年）の表彰を行います。

本年度資格到達者は本会で調査し、対象になっている会員の方にすでに案内を発送しております。調査漏れが生じることもありますので、下記に該当される方で、未だ本会より連絡のない方、または前年度までに資格到達された方で受賞の意思のある方は、お手数ですが平成29年3月10日までに東京都診療放射線技師会事務所までご連絡ください。

## 規定内容の要旨

- (1) 今回の該当者は平成9年3月31日までに、診療放射線技師の免許を取得し、技師業務に20年以上従事した方が対象である。
  - (2) 平成14年3月31日以前に入会し、引き続き本会会員であって、会費を完納していること（15年以上継続会員）。
  - (3) 現在正会員であり、引き続き平成29年度も会員であること。

以上

## －会員の皆さんへ

# 会費納入のお願い

經理委員會

会員の皆さんには、平素より公益社団法人東京都診療放射線技師会の活動にご理解、ご協力をいただき誠にありがとうございます。

さて、今年度の会費納入をお忘れの方は、お手元の払込用紙をご利用のうえ早急に納入していただきますようお願いいたします。

なお、会費未納期間2年以上の会員については、退会の手続きをいたしておりますのでご注意ください。

ご不明な点は事務所までお問い合わせください。

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX 03-3806-7724

# お知らせ

## 1

### 平成28年度 第5地区研修会『第5地区のつどい』 テーマ「胸部ポータブルX線画像の読影」

講師：東京大学医学部附属病院 放射線科 大倉 直樹 先生

今年も第5地区において、好評をいただいている地区研修会「第5地区のつどい」を開催致します。この研修会は、演者と皆さまが活発に議論することにより、知識を深めることを趣旨とした勉強会です。

今回は、胸部ポータブルX線画像における読影のポイントなどについて、医師の目線から講演していただきます。胸部ポータブル撮影は新入職員からベテランの診療放射線技師まで多くの方が撮影に携わっていると思います。読影力の向上、撮影体位の検討、再撮影の基準についてなど、翌日からの業務に非常に役立つ講演内容と思われます。一人でも多くの会員の皆さまに参加していただきたく、このテーマで企画しました。

また研修会後は意見交換会ご用意しておりますので、ご参加いただいた皆さまの交流をさらに深めて地域医療の発展に繋げていただければ幸いです。多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

#### 記

日 時：平成29年3月3日(金) 19時00分～20時00分 (受付開始18時30分～)

場 所：東京大学医学部附属病院 入院棟A 1階 レセプションルーム  
〒113-8655 東京都文京区本郷7-3-1

ア ク セス：丸の内線 本郷三丁目駅2番出口 徒歩約10分  
大江戸線 本郷三丁目駅5番出口 徒歩約10分  
千代田線 湯島駅1番出口 徒歩約15分

受 講 料：診療放射線技師500円、新卒かつ新入会員\*、一般ならびに学生 無料

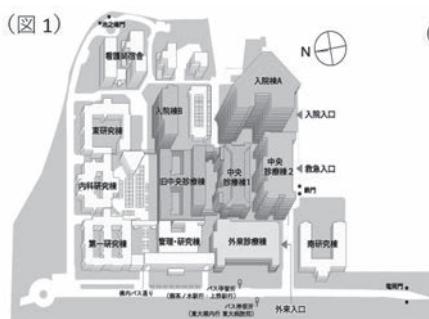
申込方法：東放技ホームページ (<http://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォーム（研修会申し込み先は“5地区”を選択）からお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

\*当日参加可能ですが、会場のスペースの関係で事前登録者を優先させていただく場合がございます。  
できる限り「事前申し込み」をお願いいたします。

問い合わせ：第5地区委員長 稲毛秀一 E-Mail：[area05@tart.jp](mailto:area05@tart.jp)

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上



①図1の入院棟A「入院入口」をお入りください。



②図2の「入院棟A救急入口」から、中扉を通り、1階フロアに  
入って左側のガラス張りの部屋がレセプションルームです。

\* 図1の「入院入口」と、図2の「入院棟A・救急入口」は同じ入口です。

## 平成28年度 第1地区研修会

### テーマ「乳がん検診におけるMMGと乳腺USの総合判定」

講師：いしいクリニック乳腺外科 松浦 陽子 氏

第1地区では下記の通り研修会を開催します。

講師に、いしいクリニック乳腺外科の松浦陽子氏をお招きして、「乳がん検診におけるMMGと乳腺USの総合判定」というテーマでご講演していただきます。

近年、乳がんにおける検診は社会的にも認知されるようになってきています。検診時のMMG撮影を行う場合には、担当する診療放射線技師もMMGの資格を持っている方が多くなってきていると思います。しかしながら施設の事情などにより乳腺USまで行っている診療放射線技師は少ないようになります。今回の講演では、乳腺USの知識を深め、MMG撮影のスキルアップに役立てていただければと思っています。また、これから乳腺USを始めたいと思っている方にもおすすめの講演となると思っています。

皆さまのご参加をお待ちしています。

#### 記

日 時：平成29年3月22日（水）19時00分～20時00分

場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505

ア クセス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分

受 講 料：診療放射線技師500円

新卒かつ新入会員\*、一般ならびに学生 無料

申込方法：東放技ホームページ (<http://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォーム（研修会申し込み先は“1地区”を選択）からお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。（※当日参加も可能です）

問い合わせ：第1地区委員長 齊藤謙一 E-Mail：[area01@tart.jp](mailto:area01@tart.jp)

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

\* 新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう

# お知らせ 3

## あなたはご自分の所属地区をご存じですか？

東京都診療放射線技師会は、東京を13の地区に分け、東京に隣接する千葉方面・神奈川方面・埼玉方面を加えた計16地区で構成されています。

本会ホームページhttp://www.tart.jp/に各地区の表と地図が掲載されていますので、ぜひ活用ください。

The diagram illustrates the navigation path from the homepage to the district information page. A large arrow points from the top right towards the center. On the left, there's a small image of a city skyline. In the center, there's a screenshot of the homepage with a button labeled "トップページのここをクリック". Below it is a screenshot of the "お知らせ" (Information) page, which lists various news items and links. One link, "地区紹介ページ", is highlighted with a red box and an arrow pointing to the right, indicating where to click to reach the district information page.

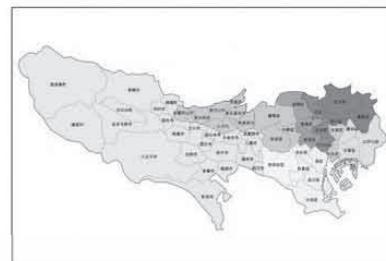
なお、毎月月替りで、各地区の特色や活動を紹介しています。  
地区表の上の地区名からリンクしていますので、こちらもぜひご覧ください。

### 情報委員会



第1地区	第5地区	第9地区	第13地区
第2地区	第6地区	第10地区	第14地区
第3地区	第7地区	第11地区	第15地区
第4地区	第8地区	第12地区	第16地区

城東支部	第1地区	千代田区	
	第2地区	中央区	台東区
	第7地区	豊田区	江戸川区
	第14地区	千葉方面地区	千葉地域
城南支部	第4地区	港区	渋谷区
	第8地区	品川区	大田区
	第11地区	世田谷区	目黒区
	第15地区	神奈川方面地区	神奈川地域
城西支部	第3地区	新宿区	
	第9地区	板橋区	墨田区
	第10地区	練馬区	中野区
保健支部	第12地区	文京区	杉並区
	第6地区	豊島区	荒川区
	第16地区	琦玉方面地区	埼玉地域
多摩支部	第12地区	西東京市	清瀬市
		小平市	東村山市
		武蔵村山市	東大和市
	第13地区	上記、第1~2地区以外の多摩地域	



# 第一部 急性腹症 虫垂炎

日本大学医学部附属板橋病院 市川 篤志

サマーセミナーやウィンターセミナーでご好評をいただいた「急性疾患アラカルト」が、3つの領域と各回それぞれにテーマを変えて新しく本誌で連載をスタートすることとなりました。第一回目は、虫垂炎について解説致します。

## 1 はじめに

サマーセミナーやウィンターセミナーで好評であった「急性疾患アラカルト」を連載することとなりました。まず第一回目は、虫垂炎について解説したいと思います。

## 2 虫垂炎について

虫垂炎とは、虫垂に化膿性の炎症や壊死が起こる疾患となります。一般的に「盲腸」という通称で知られていますが、これは昔、虫垂炎の発見が遅れて炎症が盲腸まで広がった状態で発見されたケースが多かったためといわれております。

症状の典型的な経過としては上腹部や臍のまわりが突然痛み出し、次に発熱、嘔気や嘔吐、食欲不振が起ります。数時間もすると嘔気は止まり、数時間から24時間以内に痛みが右下腹部に移行していきます。発熱は37~38℃の微熱が多く39℃以上の場合は穿孔性腹膜炎や膿瘍形成を考えられます。

虫垂の位置ですが「右下腹部にあります」と多くの文献で記されています。しかし、虫垂は可動性に富んでいることもあり、見つけだすのが難しい臓器です。位置についての文献もいくつか存在しますが、今回は虫垂基部を中心として時計の針の方向で存在する位置について示します（図1）。

虫垂は大腸の一部で盲腸からぶら下がっており、長さは5~10cm太さは0.5~1cmぐらいといわれています。まるで芋虫がぶら下がっているよ

うな形なので、「虫様突起」とも呼ばれます。盲腸は小腸と大腸の移行部にある袋状の部分です。

長年、虫垂は重要な機能は特にないと考えられてきました。存在意義が不明だった臓器といえます。しかし、2014年に大阪大学大学院医学系研究科感染症・免疫学講座 竹田教授らのグループによる研究で虫垂にあるリンパ組織は、粘膜免疫において重要な役割を果たし、IgA産生に重要な場であり、腸内細菌叢の制御に関与しているという大変興味深い論文が発表されました。

虫垂炎になるメカニズムは、まだ完全にはわかっていないが、糞便（糞石）や異物、リンパ組織の過形成、まれには腫瘍などが虫垂の入口部を閉鎖、もしくは狭くさせてしまうのが原因と考えられています。これにより、虫垂の内圧が上昇して血行が悪くなり、そこに細菌が進入して感染を起こし、急性の炎症が起こると考えられています。

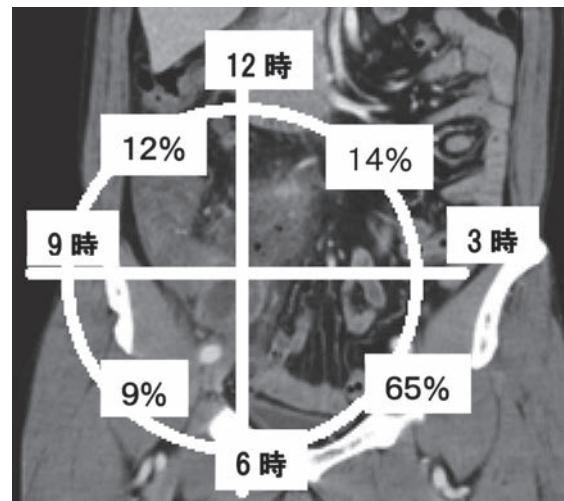


図1\*

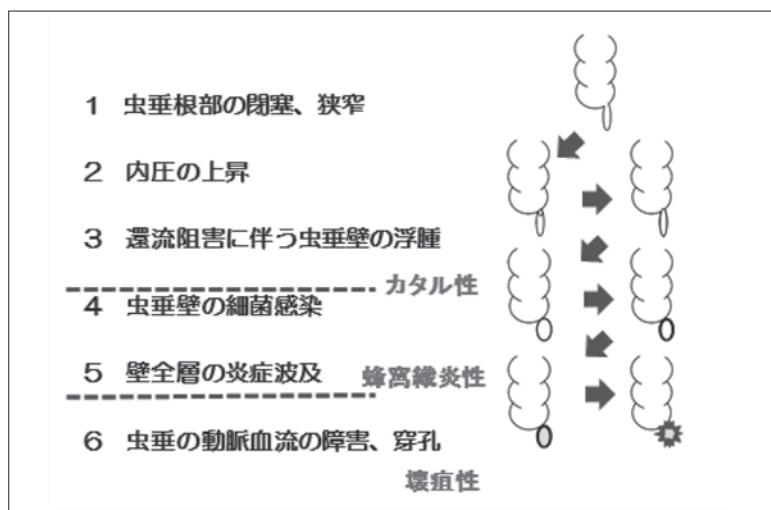


図2

す。虫垂炎の病期は、大きく3段階に分かれています。虫垂炎の病期は、大きく3段階に分かれています。虫垂炎の病期は、大きく3段階に分かれています。

しかし、最近では薬物療法が進歩し、カタル性のものについては、抗生素による内科的治療で治るようになってきています。これは薬剤で炎症を緩和することを指します。ただし、薬物療法の場合、再発の可能性もあるといわれています。

腹膜刺激徵候が明らかな場合や、画像検査で虫垂が1cm以上に腫大して虫垂の壁構造の破綻や膿瘍がある場合は、虫垂炎が蜂窩織炎性や壊疽性まで進んだことを意味しており、緊急手術が必要となります。早期に手術を行った場合、死亡率は1%未満と非常に低く、入院期間も1週間程度ですみます。

手術方法としては、従来から行われている「開腹手術」と、「腹腔鏡を用いる手術」の2通りがあります。開腹手術は「交差切開法」と「傍腹直筋切開法」があります。腹腔鏡による手術は、おなかも小さな穴をあけるだけですから、傷が極めて小さく、入院期間も2、3日ですみます。

検査方法については、診察(触診)、採血、超音波検査、X線撮影検査、X線CT検査があります。診察ですが、一般的には仰臥位になり膝を立て、右下腹部を手指で垂直に、ゆっくりと深く圧迫し、素早く手を離した時の症状をみます。圧力をかけていた時よりも、圧力を除いた時の方がかえって強い痛みを感じことがあります。これがブルンベルグ徵候です。

採血においては、炎症の程度を表す白血球数

(WBC) や反応蛋白(CRP) の値が問題となります。炎症が起こると、早期に白血球が増加し、急性虫垂炎の場合では約90%の患者で $10000/\mu\text{l}$ 以上の値を示すといわれます。CRPの一般的な基準値としては、 $0.03\text{mg/dl}$ で、それ以上はCRPが高いと示されます。虫垂炎の場合は、体に炎症が起きていることになりますから $5.0\text{mg/dl}$ 以上となることもしばしばあります。

### 3 X線検査について

続いてX線撮影検査です。胸腹部の撮影では、横隔膜直下のFree Airや肺炎、心筋梗塞の除外目的、糞石、Psoas Signなどを観察するために施行されます。

X線CT検査は、他の検査に比べ感度、特異度が高く信頼性の高い検査といわれています(図3)。

	感度	特異度
理学所見	6~70%	-
超音波検査	86%	81%
X線CT検査	94%	95%

図3 \*\*

単純CT検査では、臓器間のコントラストが弱いという欠点があります。しかし、虫垂炎における造影CT検査は、単に臓器間コントラストの増強だけではなく、炎症部位を造影する目的でも使用されます。局所に炎症反応が生じると通常は閉じ



図4

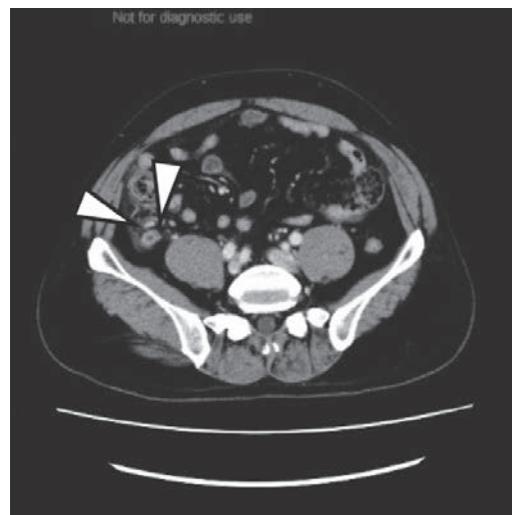


図5

ている毛細血管床が開き血流量の増加によって造影の増強効果が期待できるからです（図4、図5）。

虫垂炎ではない場合、虫垂を見つけ出すには壁が極めて薄く炎症所見（脂肪織による毛羽立ち）がないため困難であると言えます。その場合はほかの疾患が疑われる所以注意深く観察してく

ださい。例えば消化器系や婦人科系、泌尿器系の疾患（憩室炎（図6）右卵巣成熟囊胞性奇形腫（図7）腎孟腎炎（図8））などがあります。虫垂炎の場合では虫垂内腔径6mm以上、虫垂壁厚2mm以上、壁造影効果の増強、虫垂周囲の脂肪織の毛羽立ち、糞石といった特徴があります（図9、図



図6

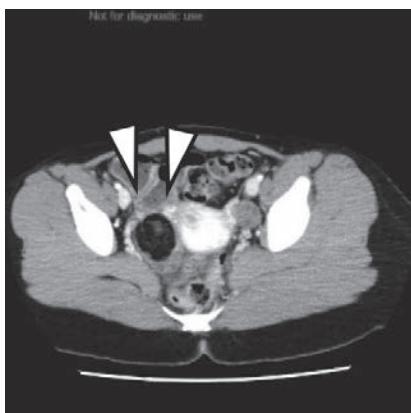


図7



図8



図9



図10



図11

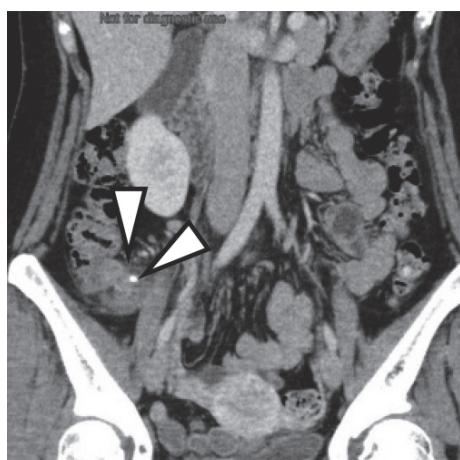


図12

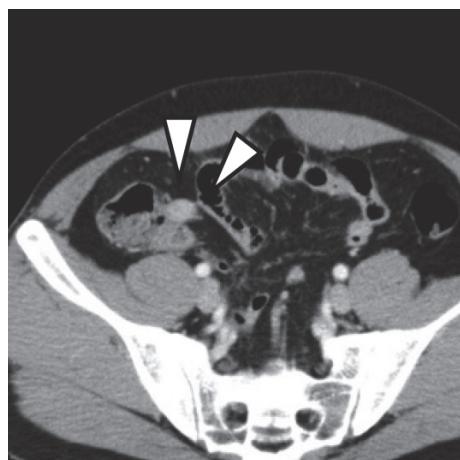


図13

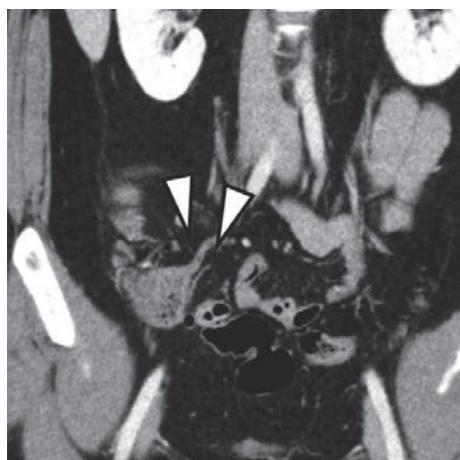


図14

10、図11、図12、図13、図14)。

画像に示した通り最近では、マルチスライスCTの普及によりMPRを積極的に使用することができるようになりました。これは読影をするうえで大変重要なツールであると考えられます。

「急性腹症」の中でも虫垂炎は最も頻度の高い疾患です。約15人に1人はこの病気にかかるといわれています。男女差も特にないそうです。実際に勤務中に虫垂炎疑いというのはよく見かけると思います。

今回の解説が皆様のお役に立てればと思います。

## 参考文献

- ・ Nature Communications 大阪大学大学院医学系研究科感染症・免疫学講座(免疫制御学)/免疫学フロンティア研究センター 竹田潔 他
- ・ Medical Note 虫垂炎 盲腸 名古屋大学大学院医学系研究科 小児外科学 内田広夫 他
- ・ 腹部救急診療の実際 船曳孝彦 他 医学図書出版
- \* 初歩から始める超音波検査室
- \* \* 今日の臨床サポート 産業医科大学 公衆衛生学教室 村田篤彦

# こえ

## 新春のつどいに参加して

東京慈恵会医科大学附属第三病院 池部翔子

本年、1月13日に開催された「新春の集い」に参加させていただきました。

このような式典に参加させていただくことは初めてであり、他の病院の診療放射線技師や、メーカーの方々とご挨拶させていただき、はじめは緊張しましたが、とても気さくにお話ししてくださり緊張もすぐに解けました。また、おいしい料理やお酒をいただきながら、楽しく有意義な時間を過ごすことができました。

懇親会の中では、現在、どのような仕事や活動を行っているのか、これからどのように勉強をしていくと良いのか、いろいろとアドバイスをしていただきました。それぞれの考えに刺激を受け、現在の自分の考え方を見直すことができ、今後のあり方を考

える良い機会となりました。

また、メーカーの方々とは普段はあまり情報交換をする機会がありませんが、最新機器の話や臨床の現場ではどのようなものが必要とされているのかといった話をすることができます。とても新鮮な気持ちで話を聞くことができ、今後更に、良い職場環境を作るためにも、多くの情報交換ができれば良いと思いました。

初めて参加した「新春のつどい」で、多くの方々と触れ合い、繋がりの大切さを感じました。このご縁を大切にし、自身の成長の為にも頑張って行こうと思います。そして、これからも技師会活動にも貢献していくと良いと思います。



## 筋肉スグルの役員研修会潜入記

平成28年12月3日（土）『第23回東京都診療放射線技師会役員研修会』が箱根にある私学共済「対岳荘」を会場に開催されるということで、わたくし筋肉診療放射線技師であるスグルが実態を探るべく単独潜入を試みた。

理事及び委員長、各委員会の委員など50名弱が集まったこの会、私は第6区委員長という仮の姿での参加となった。普段、研修会などの催し物にはこれほどの参加者は珍しいことで、その上場所が箱根、年末に泊まり込みといった内容にもかかわらず、なぜこんなにも多くの人を引き寄せるのか、私には謎であった。忘年会の意味合いも含んでいるからか？否、それだけではない何かがあるはずだっ！！ そう踏んで臨んだ今回の研修会、皆さまに真相を報告したい。

当日は快晴で箱根に向かうという小旅行気分と初めて研修会に臨む緊張した気分（お風呂で先輩方の背中を流す伝統行事があるので…）とが入り混じり非常に複雑な心模様で出発した。顔見知り程度の人と道中一緒になったら気まずいなあと思いつつも幸い？ 誰とも乗り合わせず小旅行気分のままで、今回の会場となる私学共済「対岳荘」へとたどり着いた。部屋割りは、3~4人で一部屋となっており、私は浅沼編集委員長と岡部前第6地区委員長と、気心の知れた方と一緒に部屋割りだったので、宿を出る

まで緊張の連続からの恐怖からは解放され助かった。とはいえる気は抜けない。これからが本番なのだから…。



今回の目的である研修会は2部構成となっており、第1部は理事会を含めた研修会、第2部は食事をとりながら親睦を深める交流会となっている。まずは第1部、篠原会長のISRRRT参加報告を出発から帰国までの画像をふんだんに交えたスライドの報告を皮切りに、野口委員長から大きな変革をふまえた定款諸規程等検討委員会報告を受けた。そして、今回の研修会のメインともいえる講演を日本診療放射線技師会副会長 佐野幹夫氏より“JART副会長が語る－診療放射線技師の未来のために（仮題）”をお話しいただいた。内容は、佐野副会長が歩んできた（戦ってきた）技師人生のお話だった。職場での診療放射





線技師の質・立場向上へ常にご尽力をつくされてきた内容に、管理職に就く参加者は肺腑を衝かれたのではないだろうか。私自身も佐野副会長の非常にパワフルで魅力あふれる人柄を感じたし、講演内容には非常に感銘を受けた。その後、休憩をはさんで理事会となったが議事録もあるので割愛しよう。これで第1部は終了。なるほど、普段聞くことのできない内容の講演ばかりで参加者が集まるのも理解できる。しかし、まだまだ足りない。答えは第2部にあるに違いない。第2部まで小一時間あるので、筋肉スグルとばれないように筋肉アピールをしないよう温泉に浸かり万全の態勢で第2部に備えた。

宴会場に全員そろい第2部の親睦会が始まった。最初はビールの乾杯から厳かに始まった会だが、差し入れの日本酒に到達するころには大宴会となっていました。鈴木総務が新委員長などの自己紹介コー

ナーを設けて親睦会の体をなすように孤軍奮闘していたが、今となっては誰が挨拶していたか記憶はない。残っているものと言えば、委員会のあいさつをした時に山崎編集委員が、プロ級のルンバでクルクル回っていたことと、小田前副会長に正体を暴かれポージングをしながら執行部へ物申したことであろうか…。その後、部屋飲みへと移行したのだが、そこがまたカオスだった。ここでは語らないが、非常に楽しかった… 良いものを見せてもらった…。東放技は人材の宝庫で、多くの人に出会い吸収し自分を成長させる（パンプアップ＆ビルドアップ）する場所なのだと再確認した小旅行だった。多くの人を集めるのはずだ。追伸：これはあくまでも個人的見解であるので、どのようにとらえるかは地区委員として参加してみてもらいたい。

筋肉スグル



# Pipe line

パイプライン

## 平成29年度 関東甲信越診療放射線技師学術大会

【信州から発信 健康長寿を目指して】  
～高齢化社会で求められる放射線診療・医療サービス～

開催日 2017年 6月 24日（土）～25日（日）  
会場 主会場：長野市若里市民文化ホール  
情報交換会：ホテル メルパルク 長野

大会HP：<http://www.knt.co.jp/ec/2017/kshg29/index.html>

事前参加登録受付期間：2017年 1月 15日～2017年 6月 1日

発表題登録：2017年 1月 10日～2017年 4月 1日

主催：公益社団法人日本診療放射線技師会  
一般社団法人長野県診療放射線技師会  
公益社団法人東京都診療放射線技師会  
公益社団法人 神奈川県放射線技師会  
一般社団法人山梨県診療放射線技師会  
一般社団法人千葉県診療放射線技師会

南関東・北関東地域診療放射線技師会  
公益社団法人埼玉県診療放射線技師会  
公益社団法人茨城県診療放射線技師会  
一般社団法人栃木県診療放射線技師会  
一般社団法人群馬県診療放射線技師会  
一般社団法人新潟県診療放射線技師会

後援：長野県 長野市

支援：(公財)ながの観光コンベンションビューロー

実施：一般社団法人長野県診療放射線技師会

大会長：中沢 利隆（一般社団法人長野県診療放射線技師会 会長）

実行委員会・事務局  
長野赤十字病院 中央放射線部  
〒380-8582 長野市若里5-22-1  
Tel : 026-226-4131(内線3158)  
Fax : 026-224-0782  
E-mail : [kkrts2017office@gmail.com](mailto:kkrts2017office@gmail.com)



バス【長野電鉄】  
長野駅東口(21番のりば)～保科温泉線「ビッグ  
ハット」下車徒歩1分  
長野駅東口(21番のりば)～日赤・水野美術館線  
「水野美術館」下車徒歩3分  
路線番号:14番「保科温泉線」15番「日赤線」

タクシー  
長野駅東口から10分

お車でお越しの方  
長野I.C.もしくは須坂長野東I.C.から20分  
・国道18号線上千田交差点から西へ500m  
・国道117号線荒木交差点から東へ1000m

# Pipe line

パイプライン

## 平成29年度関東甲信越診療放射線技師学術大会 市民公開講座 会場:若里市民文化ホール

大会HP : <http://www.knt.co.jp/ec/2017/kshg29/index.html>

入場無料

申込不要

6月24日【土】

14:20-15:20

### 「ここまで解る認知症の画像診断」

講師

東京都健康長寿医療センター放射線診断科部長

徳丸 阿耶 先生



15:30-16:30

### 特別講演 「Aiの原点・医療と文学」

講師

『チーム・バチスタの栄光』著者 作家

海棠 尊 先生



6月25日【日】

10:00-11:00

### 「劇団四季・元主役の感動創造トレーナー」

講師 劇団四季・元主役 夢と感動を届ける人材育成トレーナー

佐藤 政樹 先生



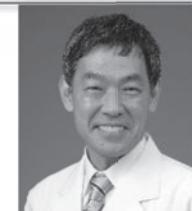
11:10-12:10

### 「信州から発信 健康長寿を目指して」

講師

白澤抗加齢医学研究所所長

白澤 卓二 先生



【主催】

公益社団法人日本診療放射線技師会  
公益社団法人埼玉県診療放射線技師会  
一般社団法人千葉県診療放射線技師会  
一般社団法人群馬県診療放射線技師会  
一般社団法人新潟県診療放射線技師会  
公益社団法人茨城県診療放射線技師会

南関東・北関東地域診療放射線技師会  
公益社団法人東京都診療放射線技師会  
公益社団法人 神奈川県 放射線技師会  
一般社団法人山梨県診療放射線技師会  
一般社団法人栃木県診療放射線技師会  
一般社団法人長野県診療放射線技師会

【後援】

長野県 長野市 【支援】(公財)ながの観光コンベンションビューロー

【実施】

一般社団法人長野県診療放射線技師会

【大会長】中沢利隆 一般社団法人長野県診療放射線技師会長

実行委員会・事務局 長野赤十字病院 中央放射線部

〒380-8582 長野市若里5-22-1 Tel:026-226-4131(内線3158) Fax:026-224-0782 E-mail:kkrpsc2017office@gmail.com



## 超音波画像研究会 講演会

<http://us-image.kenkyukai.jp/>

### レベルアップセミナー 所見レポート HOW TO…

ラボデータからの推測、超音波所見の見方、カテゴリー分類、レポート記入などについて知識を総括し、ステップアップするためのセミナーです。ぜひご参加いただきたく、下記のとおりご案内申し上げます。

日 時：平成29年3月26日（日）8時40分～17時40分

会 場：中央医療技術専門学校

- 内 容：  
1) 胆囊胆道の所見と所見記入 9:00～10:30  
2) 肝疾患 10:40～12:10  
3) 膵疾患 13:00～14:30  
4) 腎脾 14:40～16:20  
5) 課題 16:30～17:30

参 加 費：会員外 10,000円、正会員 8,000円（いずれも昼食費を含む）

募集人員：30名（20名以上で開催）

申込方法：ホームページ閲覧のうえ、mailまたはfaxにてお願ひいたします。

問合せ先：中央医療技術専門学校 菅和雄、今尾仁 あて

TEL：03-3691-1879（16時30分～18時00分）

超音波画像研究会 事務局 e-mail：[us.image.workshop@gmail.com](mailto:us.image.workshop@gmail.com)

# 会員動向

平成28年度1月期

年月	月末会員数	新入	転入	転出	退会
平成27年度末集計	2,136	159	27	8	130
平成28年 4月	2,146	12	4	1	5
平成28年 5月	2,176	34	2	3	3
平成28年 6月	2,214	38	2	0	2
平成28年 7月	2,242	29	0	1	0
平成28年 8月	2,223	11	1	0	31
平成28年 9月	2,251	30	2	2	2
平成28年10月	2,272	20	2	0	1
平成28年11月	2,274	5	0	0	3
平成28年12月	2,244	10	1	1	40
平成29年 1月	2,246	7	2	1	6

MORIYAMA多目的診断用保持具  
 Round Foam  
多目的診断用保持具・ラウンドフォーム

MORIYAMA  
Round FOAM

しっかり安定、ラクラク撮影!  
患者さんの負担を軽減し、  
撮影の妨げを解消する  
「ラウンドフォーム」

ラウンド加工により、  
患者さんにもやさしいソフトな感触。  
X線撮影時にエッジ部分が  
写り難くなりました。

※RoHS指令(特定の有害物質使用規制に関する指令)に対応しております。

MORIYAMA 株式会社森山X線用品 営業部/〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目24番11号 TEL.03-3811-5811(代) FAX.03-3811-5484  
本社/〒123-0873 東京都足立区扇1丁目52番12号 TEL.03-3898-3151(代) FAX.03-3898-3510  
MORIYAMA X-RAY EQUIPMENTS CO.,LTD. <http://www.moriyama-x.co.jp> E-mail [info@moriyama-x.co.jp](mailto:info@moriyama-x.co.jp)

# News

## 3月号

### 前回議事録確認

前回議事録について確認を行ったが修正意見はなかった。

### 理事会定数確認

出席：20名、欠席：0名

### 会長挨拶

あらためまして皆さま明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いします。新年の事業活動は、年度最後仕上げの3カ月の始まりということです。13日の新春のつどいを皮切りに、年度内の事業が残っておりますので皆さまご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。これから新年のご挨拶に見えられるメーカーの方もいると思います。皆さまから新春のつどいのご案内をしていただいて一人でも多く集まつていただき、我々の会員もできるだけ多く集まつていただけるように各地区で声かけをお願いします。地区委員の数以上の方が、地区からお集まりいただけるようにお願いします。残りの3カ月を本年度の前半を振り返りながら、次の事業につなげていきたいと思います。年頭所感でも書いていますが、年が明けると1つ大きくカウンターが前に進むというような感じです。2年後の2019年には東京都診療放射線技師会が関東甲信越学術大会の当番の年となります。3年後のオリンピックの年は創立70周年を控えております。そしてその次の年に、AACRTが日本に来ることが決まっています。開催が東京でということになりますと3年連続の大きなイベントということです。2年後、3年後、4年後に向けて具体的にいろんなものを動かさなければいけない年になりました。会場の確保、組織委員

日 時：平成29年1月5日（木）

午後6時45分～午後7時30分

場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所

出席理事：篠原健一、白木 尚、石田秀樹、野口幸作、浅沼雅康、市川重司、江田哲男、安宅里美、関 真一、高野修彰、長谷川雅一、鈴木雄一、齊藤謙一、竹安直行、平瀬繁男、高橋克行、市川篤志、崎浜秀幸、原子 満、工藤年男

出席監事：野田扇三郎、葛西一隆

指名出席者：稻毛秀一（第5地区委員長）、富丸佳一（第7地区委員長）、鎌田 修（第8地区委員長）、澤田 恒久（第10地区委員長）、千葉利昭（第11地区委員長）、鈴木 晋（第12地区委員長）、宮谷勝巳（第14地区委員長）、村山嘉隆（総務委員）、雨宮 広明（総務委員）

欠席理事：なし

議 長：篠原健一（会長）

司 会：石田秀樹（副会長）

議事録作成：村山嘉隆

会の立ち上げと具体的に動いていきますので皆さまのご協力をお願いいたします。

### 報告事項

#### 1) 会長

12月3日の第23回役員研修会、第9回の理事会では箱根まで足を運んでいただきありがとうございました。大変に多くの方が集まつていただいてまた活発な議論ができて大変有意義だったと思っております。12月10日のところにソウル特別市放射線士会との学術交流協約書調印式と記載しておりますが、以前から進めておりました調印をソウルで行ってまいりました。日本語とハングルで書いた協定書にサインをしてきました。お互いに持ち合う現物を皆さんに見ていただきたいと思います。それから12月17日に日本診療放射線技師会の本年度第5回の理事会があり、中澤会長から三つのお話がありましたので紹介させていただきます。まず一つ目が、中澤会長が世界標準の会議に出席してきたそうで、今はビックデータというのがよくいわれていますが、そういった我々の診療放射線技師の活動の中でもバーコード管理などでデータ入力をすると、いろんな物品に関しても、それから検査の読影なども含めて、我々が入力作業に関わっていくということ、それもビックデータを今後活用していくということがいろんな方面から始まるといったことをテーマに考えていくのも一つ我々の責務であるというお話を一つ目。それからJART12月号の巻頭言に書かれており、わたくしも東京放射線10月号に書きましたけれども、診療放射線技師教育の指定規則の見直しを進めております。現在カリキュラム95単位のところ

を日本診療放射線技師会の案としては105単位までもつていきたい、今から10年か15年前にできたものがそのままなので、今それを増やしておかないとまた更に10年15年変わらない。我々の業務は時代とともに大きく変化したということで、技師会案としては95単位を105単位に上げようという案ですけれども、いろんな方面から2単位あげるだけでも良いのではないかと、各学校関係のほうからも意見がでています。まだ調整中ですが、何とかここで上げておかないと我々の業務も正しく評価されないということで、そういった活動もしていますというのが二つ目のお話でした。三つ目は10月と11月に公明党あるいは自民党に日本診療放射線技師会の10項目の政策を説明してきたと、のちほど事業計画総括案の中に10項目についても入れてありますので、項目だけでも見ていただければと思います。その中でも特に三つのことを強く政策として申し入れてきたということで、まずは先ほどの指定規則の解説、指定規則は単位だけではなく学校の設置基準も四年制の大学以上とすることを含めた要望が一つ目、それから国家試験委員が我々の今の実態からすると他の職種から比べても少ないのでないか、試験問題数も200問では少ないのでないかと強く要望したということです。それから三つ目の癌対策基本計画への要望ということで、リニアックなどへの診療放射線技師の配置を適正化してほしいということを特に今回は強く要望してきた。以上が中澤会長のお話でした。

## 2) 副会長

石田副会長

・活動報告書に追加なし

白木副会長

・活動報告書に追加なし

## 3) 専門部委員会

・活動報告書に追加なし

## 4) 各委員会報告

・活動報告書に追加なし

## 5) 地区活動報告

第11地区：

12月の地区委員会を開催していません。

## 6) その他

特になし

## 議 事

### 1) 事業申請について

①平成28年度第7回業務拡大に伴う統一講習会(南関東・東京)

テーマ：業務拡大に伴う統一講習会

日 時：平成29年3月4日(土)、3月5日(日)

場 所：駒澤大学駒沢キャンパス

について審議した。

【承認：20名、保留：0名、否認0名】

### ②第19回メディカルマネジメント研修会

テーマ：標準スキル・モラルクラウドシステム～可視化と褒める評価で成長し続ける組織～

日 時：平成29年3月7日(火)

場 所：東京都診療放射線技師会 研修センター

について審議した。

【承認：20名、保留：0名、否認0名】

### ③第59回きめこまかな生涯教育

テーマ：乳がんを理解する

日 時：平成29年3月25日(土)

場 所：東京都診療放射線技師会 研修センター

について審議した。

【承認：20名、保留：0名、否認0名】

### 2) 日本消化器がん検診学会関東甲信越支部

第48回放射線研修員会学術集会 後援依頼について

・事前資料の通り追加なし

【承認：20名、保留：0名、否認0名】

### 3) 定款改正案について

定款諸規程等検討委員会：野口委員長

12月役員研修会でも報告させていただきました。12月27日に第8回定款諸規程等検討委員会を開催しまして、代議員制導入という定款改正案を委員会として決めましたのでこの理事会に提示させていただきました。役員研修会でもお話ししましたけれども、公益社団法人東京都診療放射線技師会の最高意志決定機関である総会を、確実かつ効率よく機動的に開催運営するために、総会の構成要員を従来の会員方式から今回の支部、地区から選出された代議員による代議員制総会を委員会として提案させていただきました。

この定款改正案のパブリックコメントを求めるという部分と、都庁と相談しないといけない部分もあります。それもふまえて理事会として審議していただきたいと思います。このパブリックコメントをふまえたうえで3月の理事会で最終的な審議をお願いしたいと思っています。

篠原会長：今日はここでこの定款改正案を理事会として議決するわけではなくて、この案をパブリックコメントとして発表することと、都庁に改正案を相談に行くのをご承認いただいて、正式にそのパブリックコメントを受け、それによっては修正があるかもしれませんけども、それについての案を皆さんに提示すると、パブリックコメントをいただくということを承認していただきたいということです。

千葉地区委員長：代議員の人数は、おおむね会員30人

に1人で、16人を超えるときは1人ということは、例えば46人のときは2人ですか。

篠原会長：そうですね、端数をどうするかをいろいろ検討した結果、会員30人と数を決めたうえで過半数であれば1人増えるという考え方です。

【承認：20名、保留：0名、否認0名】

#### 4) 会誌印刷について

編集委員会：浅沼委員長

突然の話ですが、11月末に現状会誌の印刷と製本をお願いしている会社が事業を閉めることになりました。一部原稿を入稿している1月号は発行するように了解を取りましたので、皆さまの手元に届いたと思います。少し前より現在の会誌作成費が妥当なのか再確認を行うため、次年度からの印刷会社変更も視野に入れ、日放技の会誌を担当している株式会社キタジマに見積もりなどを取る手はずを進めておりました。今回の状況から急遽話を進めるため、昨年の実績から平均ページ数を出し算出した見積と資料が、皆さまの手元にある資料です。紙質を少し良いものにしておりますが、現在の会誌作成費と同額以下になるよう交渉を致しました。発送に関しては以前に何度か確認をして最も安価な現状の第三種郵便を維持した内容です。この年度末にはまだたくさんの事業が開催され、会誌の役割は重要と考えますので、会誌発行の継続のため印刷会社変更をご提案させていただきます。

篠原会長：いま編集の浅沼理事のほうからの説明通りに、半年後に閉めますという話ではなく、11月で閉めると聞いたのが11月の末なので、我々としては会誌発行を継続する手立てを考え緊急避難的に対処しました。本来であれば他社からも見積もりを取って会社を決めることができれば良かったのですが、今回はまずは2月号以降の会誌を予定通り発行でき、値段も今までと変わらないところまで交渉しましたので、まずはここに委託して、その先は入札などをして、継続して頼んでいくのかまた別の会社にするのかということを考えようと思います。今回こういった事情があつて、まずこの理事会で株式会社キタジマに一旦はお願ひするということをご承認いただいて、いずれ落ち着いて契約ができるようになった時点で、また改めてそこを含めた見積もりを取ってという形にしたいと思います。

浅沼編集委員長：会誌作成費用に関しては3、4年前に見積もりを他社で取ったことがあり、現状が最も安価な状況です。私としては本年度の予算も決まっていますので追加予算などは使用しないよう交渉致しました。また今後の作業内容によっては、更に作成費を減

額していただける話まで交渉しております。

【承認：20名、保留：0名、否認0名】

#### 5) 会費減額会員について

4名の方が申請

【承認：20名、保留：0名、否認0名】

#### 6) 新入退会、会費免除申請について

12月：新入会10名、転入1名、転出1名、退会8名、  
滞納退会32名、会費免除対象者1名

篠原会長：滞納退会の方が32名いらっしゃるので残念です。我々も毎年入会する人が増えて未納退会ができるだけ少なくして徐々に会員数が増えていくように工夫していきたいと思いますのでよろしくお願ひいたします。

【承認：20名、保留：0名、否認0名】

### 連絡事項

#### 1) 総務委員会：鈴木委員長

まずはドロップボックスについてです。情報委員会と協力して考えているところなので現実になるかわかりませんけれども、案としてクラウドシステムでインターネット上にファイルなどを上げていただいて、あとで皆さんと共有してやり取りをするのをやっていけたらと一つ考えています。これを将来的に使うとなりますと、メールでファイルのやり取りをすることはなくなり、メールでの報告や連絡「ファイルを上げました」や「理事会資料が上がりましたので皆さんダウンロードしてお持ちください」などのような流れにできればと思っています。もう少し体制が整いましたら、ご意見を伺っていこうと思っています。ひとまず、ドロップボックスについてご理解いただけたらという資料が一つです。もう一つは、研修センターの静脈認証のカギに関してです。資料として箇条書きで配信させていただきました。以前のカギ管理と大きく運用方法は変わっておりませんので、こちらに従って運用はさせていただきます。静脈認証に変わったことで不具合があるとか、ご提案がありましたら改善を行っていこうと考えていますのでご指導、ご意見よろしくお願ひいたします。

#### 2) 厚生調査委員会：江田委員長

昨日メールさせていただいたと思うのですけどもJARTの南関東女性活躍推進班から協力願いという形でアンケート調査の依頼が届いております。添付した資料を基にぜひとも地区のところで出産経験のある技師をターゲットにして調査を行いたいという依頼がきていますのでぜひとも地区から数名協力していただけると非常に母数も上がります。母数も50近くを希望していますので各地区から4名から5名が協力していただけると

非常に助かりますのでぜひともよろしくお願ひいたします。できれば口頭で知り合いなどを通じて協力していただけると非常に助かります。また会員の方に限らず診療放射線技師であれば対象です。返信メールの宛先は厚生調査委員のヨセノリオという委員で南関東地域の東京都代表、女性活躍推進班委員です。名称が抜けており申し訳ありませんでした。

### 3) 学術委員会：市川委員長

第15回ウインターセミナーですが、前回の理事会で承認していただいたのですけども、散乱線の除去処理の技術というテーマで特集しようと企画しており、使用方法が意外と不透明な部分が多いのでアンケートをしたいと思います。各施設に来週ぐらいに配信させていただいて情報を集めたいと思いますのでご協力お願いします。

### その他

篠原会長：皆さまに平成29年度の事業計画案の総括を配信させていただきました。今日は提案だけで来月の理事会でその他のこの下につながる各個別の事業計画案を併せてご承認をいただくというような形になり、今日は総括のみでご提案させていただきたいと思います。ご意見がありましたらお寄せくださいて、次の理事会で総括としては審議いただきます。

もう一つ連絡ですが、日本診療放射線技師会の会誌

をご覧になった方はご存知だと思いますが、日本診療放射線技師会の代議員選挙の告示がありました。今年の1月1日から1月31日までが立候補期間ということです。14名の東京都診療放射線技師会代議員は、ここにいるメンバーの方にできるだけ立候補していただければと思うのでよろしくお願ひいたします。

補足ですが、この中に代議員になっていただく方がかなりいらっしゃると思いますが、日本診療放射線技師会の総会前日6月2日に70周年祝賀会がありますので、そちらの方もよろしくお願ひ致します。

鈴木地区委員長：1月26日（木）東大和病院で第12地区研修会が開催されますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

### 今後の予定について

鈴木総務委員長：予定表をいつも通り配信させていただいている。間違いなどございましたらご連絡ください。来年度のカレンダーで予定が決まっているものの事業計画表を作成中であります。まもなく皆さんに配信できると思いますので少々お待ちください。

石田副会長：来週新春の集いがありますので、皆さん声を掛け合って人数を集めて盛大に開催したいと思います。

以上



## 学術講演会・研修会等の開催予定

日時、会場等詳細につきましては、会誌でご案内しますので必ず確認してください。

### 平成28年度

#### 1. 学術研修会

第19回メディカルマネジメント研修会 平成29年3月7日(火)

#### 2. 生涯教育

第59回きめこまかな生涯教育 平成29年3月25日(土)

#### ☆3. 日暮里塾ワンコインセミナー

第64回日暮里塾ワンコインセミナー(第6地区研修会共同開催) 平成29年3月4日(土)

#### 4. 地区研修会

第5地区研修会 平成29年3月3日(金)

第6地区研修会(第64回日暮里塾ワンコインセミナー共同開催) 平成29年3月4日(土)

第1地区研修会 平成29年3月22日(水)

#### 5. 特別委員会研修会

SR推進委員会研修会(旧災害対策委員会研修会) 平成29年3月12日(日)

#### 6. 地球環境保全活動

荒川河川敷清掃活動

日暮里駅前清掃活動

富津海岸清掃活動

#### 関連団体

平成28年度第7回業務拡大に伴う統一講習会 平成29年3月4日(土)、5日(日)

超音波画像研究会 レベルアップセミナー 平成29年3月26日(日)

### 平成29年度

#### 1. 学術研修会

☆第16回サマーセミナー 平成29年8月

第20回メディカルマネジメント研修会 平成29年11月

☆第16回ウインターセミナー 平成30年1月

#### 2. 生涯教育

第60回きめこまかな生涯教育 平成29年5月

第61回きめこまかな生涯教育 平成29年10月

第62回きめこまかな生涯教育 平成30年2月

#### ☆3. 日暮里塾ワンコインセミナー

第65回日暮里塾ワンコインセミナー(フレッシャーズセミナー合同開催) 平成29年5月

第66回日暮里塾ワンコインセミナー(フレッシャーズセミナー合同開催) 平成29年6月

#### ☆4. 第15回ペイシェントケア学術大会

平成29年6月18日(日)

#### ☆5. 第17回東放技・東京都会合同学術講演会

平成29年9月

#### 6. 集中講習会

第10回MRI集中講習会 平成30年2月

#### ☆7. 支部研修会

城東・城西・城南・城北・多摩支部研修会

#### 8. 地区研修会

#### 9. 特別委員会研修会

SR推進委員会研修会

#### 10. 地球環境保全活動

荒川河川敷清掃活動

日暮里駅前清掃活動

富津海岸清掃活動

#### ※公益社団法人東京都診療放射線技師会 第68回定期総会

平成29年6月18日(日)

#### 関連団体

平成29年度関東甲信越診療放射線技師学術大会 平成29年6月18日(日)

第33回日本診療放射線技師学術大会 平成29年9月22日(金)~24日(日)

☆印は新卒かつ新入会 無料招待企画です。

(新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう)

# 公益社団法人 東京都診療放射線技師会 研修会等申込書

研修会名	第 回	
開催日	平成 年 月 日( ) ~ 月 日( )	
会員/非会員 (必須)	<input type="checkbox"/> 会員 <input type="checkbox"/> 非会員 <input type="checkbox"/> 一般 ※ 日放技会員番号(必須) [ ] <input type="checkbox"/> 新卒かつ新入会の方はチェック	
所属地区	第 地区 または 東京都以外 [ ] 県	
ふりがな		
氏名		
性別	<input type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性	
連絡先	<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 施設 ⇒ 施設名 [ ]	
	TEL (必須)	
	FAX	
	メール (PCアドレス)	
備考		

**FAX 03-3806-7724**  
**公益社団法人 東京都診療放射線技師会 事務所**

## 登録事項変更届

公益社団法人東京都診療放射線技師会 殿

公益社団法人日本診療放射線技師会 殿

会員番号			
氏名	印		
氏名(カタカ)			
性別	男性 · 女性		
生年月日	昭和	平成	年 月 日生
メールアドレス			

下記のとおり、登録事項の変更をお願い申し上げます。

 氏名の変更

改姓(変更後の氏名)	
------------	--

 送付先変更

現在の送付先	勤務先 · 自宅
新送付先	勤務先 · 自宅

 住所等の変更

新勤務先	勤務先名	部署
	勤務先所在地	〒 -
	電話	
旧勤務先		
新自宅	現住所	〒 -
	電話	
旧自宅住所		

 その他

通信欄	
-----	--

受付 年月日  
確認 年月日 印

## 診療放射線学科専任教員募集

### 東京電子専門学校

医療・コンピュータ・電子の総合学園、創立70年の伝統と4省認定校

募集対象者：診療放射線技師（臨床実務経験5年以上）、教育経験あればなお可

募集人員：若干名

学校名：東京電子専門学校

住所：〒170-8418 東京都豊島区東池袋3丁目6番1号

待遇：経歴、資格、前給等を考慮して本校規定により優遇  
賞与（昨年度実績5.45月）、交通費支給

勤務・休日：9:00～17:00（実勤7時間）、週休2日（土日祭休）休出は代休有、半日有給制度有

社会保険：社会保険完備（私学共済等）

宿舎の有無：なし

応募方法：履歴書（写）、職務経歴書、資格者証のコピー（必要なもののみ）、通勤可能な方、  
担当できる教科（可能であればお知らせください）

担当者：脇坂 哲夫 E-mail : [saiyo@tokyo-ec.ac.jp](mailto:saiyo@tokyo-ec.ac.jp)

TEL : 03(3982)3131(大代表) FAX : 03(3980)6404

## JMB 医療スタッフ随時募集中!!

診療放射線技師・看護師・保健師・臨床検査技師・薬剤師・歯科衛生士・管理栄養士

当社は、今迄数多くの病院・医療機関等より要請を承っております。

勤務の内容や時間帯、単発的なアルバイトや転職など、皆さまのご希望に合わせてお仕事をご紹介いたします。

医療スタッフを随時募集しております。ご友人などのご紹介も随時受け付けております。

★まずはお気軽にご連絡下さい。詳しくご説明させて頂きます。

★登録・紹介料は不要です。

★受付時間 平日 9:00～17:30  
土曜日 9:00～13:00  
(日曜日・祝祭日休み)

株式会社ジャパン・メディカル・ブランチ  
フリーダイヤル 0120-08-5801

〒134-0088 東京都江戸川区西葛西6丁目17番5号 TEL : 03-3869-5801

URL : <http://www.jmb88.co.jp> FAX : 03-3869-5802 E-mail : [info@jmb88.co.jp](mailto:info@jmb88.co.jp)

一般労働者派遣事業許可 般13-301371 有料職業紹介事業許可 13-ユ-130023

# Postscript

今 年度も残すところ1ヶ月となり、診療放射線技師となって早1年が経とうとしています。仕事に委員会に勉強会に学会に研究に…とても充実していてあっという間の一年でした。診療放射線技師としてはまだまだ未熟ですが、私にとってはとても変化が大きく成長できた1年だったと思います。

ただ残念なことに、私は外見も成長してしまったのです。私の職場は仕事着の指定はなく、ケーシーやスクラップをそれぞれ好みで選んで着ています。比較的スクラップの方がゆったり着ることができて楽であるため、私はここ数ヶ月スクラップを着て仕事をしていました。思いつきで久しぶりにケーシーを着てみようと思い、ズボンを履いたところ、キツイ。ウエストがキツイ…と、こうなったわけです。年末には、体重が過去最高値に迫る勢いで増えており、大変ショックを受けました。徐々に肥えてきているのは気づいていましたが、しっかり数値として表るとかなりのダメージでした。そこで年始からは食事に気をつけ、ダンス漬けだった学生時代に行っていたストレッチやエクササイズを少しづつ再開し始めました。おかげで今現在は、徐々

にではありますが、就職したての4月頃の体重まで落ちてきました。嬉しいことに、最近では職場で毎日顔を合わせている人たちからも「ちょっと痩せたね」と言われ始め、見た目にも変化が現れているようです。ストレッチやエクササイズは簡単なものしか行っていないため、夕飯を軽く済ませるもしくは食べないということがいちばん減量に影響していると考えています。し・か・し、それと引き換えに、なかなか料理が上達しないという問題が新たに発生しています。基本的に食べることは大好きなので、夜に料理を作ってしまうと男の人並みに食べてしまうのです。夕飯を作らずに食べないことはできても、夕飯を作って目の前に料理があるのに食べないということは私にはできません。さあどうするか、これに対して別の策を考えなければならない今日この頃です。

RumbaAYN



## 東京放射線 第64巻 第3号

平成29年2月25日 印刷 (毎月1回1日発行)

平成29年3月1日 発行

発行所 東京都荒川区西日暮里二丁目22番1 ステーションプラザタワー505号  
〒116-0013 公益社団法人 東京都診療放射線技師会

発行人 公益社団法人 東京都診療放射線技師会

会長 篠原 健一

編集代表 浅沼 雅康

振替口座 00190-0-112644

電話 東京 (03) 3806-7724 <http://www.tart.jp/>

事務所 執務時間 月～金 9:30～17:00

案内 ただし土曜・日曜・祝日および12月29日～1月4日までは執務いたしません

電話・FAX (03) 3806-7724

## 編集スタッフ

浅沼雅康

内藤哲也

岩井譜憲

森 美加

高橋克行

田沼征一

山崎綾乃